Dadd't WELCOME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ CONTENTS

- ・一面 わたしの3.11
- ・福島県 「国連防災世界会議関連事業 in 福島」から
- ・岩手県 岩手県下閉伊郡山田町 日常を取り戻す一歩
- ・山形県 震災復興高校生サミット
- ・Special Interview ・しあわせココロのつくりかた (32)
- ・おすすめ情報 ・レシピ ・団体紹介 ・編集部より

第60号

つながろう!ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた TEL 023-674-7311

E-mail kizuna@yamagata1.jp 発行数:3,500 部

* わたしの 3.11 *

みんなの声 ... キャンドルナイト『追悼・復興への祈り』



2015年3月11日、東日本大震災から4年を迎え、追悼と復興を願った式典・キャンドルナイトが山形市 文翔館前広場で行われ、来場していただいた方々よりメッセージをいただきました。(一部掲載)

★はやくみんなが げんきにくらせ ますように (男の子)

★もうすぐ春がきます。
悲しみも苦しみもくやしさも
心の傷も、すべて、喜びと希望
の花となりますように。
(山形市・女性)

★今年の3.11も雪で した。今年は福島へ帰ります。 第二のふるさと山形の皆さん、 ありがとう!!

(山形市・女性)

★明日はきっと 明るい ガンバロー! (山形市・男性)

★夢

(寒河江市・男性)

★仙台での礼拝のイベントに参加できないので、山形の会に来ました。 復興もたいへんなことですが、健康に留意して一日も早い立ち上がりをお祈りいたします。

(山形市・男性)

★当たり前の生活 ができていることに 感謝!!亡くなった 方の分も、精一杯 生きる!! (さいたま市・男性)

★もうすぐ暖かい 春がきます。 楽しみましょう! いっしょに。

(無記入)

★人と人とのつながり を大切に…。笑顔の花 を咲かせよう。 (天童市・女性) ★山形県の皆様には、 大変お世話になって おります。感謝!! (福島県伊達市・男性)

★夢をもって未来 にすすもう! (山形市・女性)

★早や4年されど まだ復興は始まっ たばかり。 がんばろうよ (山形市・男性)



From 福島

国連防災世界会議関連事業 避難生活を見つめなおす。 i n 福島」 から



目的で、 海外から介入してくるケースが発展途 興も自国の中で解決出来るであろうと 界会議関連事業)in福島主催の 上国の災害時に比較すると少なめであ 認識され易い事、 的に豊かな国家であり、 て」ワークショップが開催されました。 界とともに共有し、世界の人々と連帯 しながら、 その中で、 |の復興と被災者の生活再建に向 3 月 17 UNWCDRR Ħ 解決の方向を見出すという 世界的に見て日本が経済 福島原発災害の教訓を世 そのため復興支援に 災害からの復 (国連防災世 福 H

福島原発災害からの克服に向け

ふくしま行動宣言

2011年3月11日に発生した東北太平洋中地震が たらした福島原発炎書は、丸4年を経てなお、復日 後興の見通しが立たず、その深刻さ・過酷さを突 き付けている。 本日のワークショップを通して得られた教訓に基 づいて、福島原発災害からの克服・人々の生活再建 と被災地の復興再生に向けた今後の展開方向につい て、振起したい。

❸生活再建やふるさとの復興再生に対する合意形成 システムを構築する。

健康が損なわれる可能性があります。 ること等も語られました。 民」というカテゴリーが必要になってく を世界に理解してもらうために うした特殊な被災(公害・放射線被曝等 被害が放置され易く、 えることから、 には豊かな暮らしが復旧している様に見 るという事が共有されました。 かし、 原発事故については、 可視化が困難な放射能 結果として身体の 「環境難 経済的 そ

以上は、 に共有されたことだと思います とが保障されなければならない、 に関わらず、そこで人間が生活している [連の人権に対する考え方の基本が明 最も重要だったのは、 安心しながら快適に暮らせるこ 被災地・避難 という

玉

福局原発災害の教訓から導き出されたこれらの行動方針は、日本国内の他の原発や世界の原発それらの立地地域や地域住民など利害関係者における今後の原子が、放射能に関する危機管理のあり方として、たるとを根記する。ここに参加した多くの市民や専門家は、この行動方針に基づいて具体的な行動に結びつけていくための国内外のネットワークを構築していくことを決意する。 (ひろぴ 「福島原発災害からの克服に向けて ふくしま行動宣言」

From 岩手

岩

当の意味での復興にはほど遠い 田 害を受けた町も復興が進み、 の生産高日本一を誇っていた山 て発展し、 L 田 がたちましたが、 線の鉄路復旧もようやく見通 町 古くから あの日津波で壊滅的な被 震災前は殻つきカキ 漁業・観光の まだまだ本 町とし Щ

しかし、 うれしいことに昨

は希望の未来が見えるような嬉

中



手 県 H 下 常 閉 を 伊 取 郡 ŋ 山 戻 田 町 す 歩

現状です

年

荒ぶる男たちの海上神輿渡御…。 に復元され、 した。 空に映える豪華な御神輿、 大破した大杉様の御神輿が4年ぶり の復活を告げる大きな一歩になりま は4月のカキまつり。祭りはたくさ となる2つの祭りの復活です。 んの人で賑わい゛カキの町・山田〟 がわきかえる熱い3日間でした。 い出来事がありました。 さらに、 祭りも完全復活! 9月には津波により 4年ぶり そし まず て、 町

予定。 びください。 今年も4月下旬にはカキ祭りが開催 歩となることを願ってやみません。 それは日常の復活にほかなりませ なたを待っています。 たり前にあったもの。 カキ祭りも御神輿も震災前には当 祭りの復活が復興への大きな一 美しい海と美味しいカキがあ (あべちゃん) ぜひ足をお運 祭りの復活

From 山形



里学園高校 復興高校生サミットが、 福島県と山形県の高校生による震災 (米沢市) を会場に米沢ラ 3月29日に九

として開催されました [校の生徒や先生38名が参加し福島 オンズクラブ五十周年記念奉仕事業 福島県南相馬市より小高商業高校 米沢東高校、 山形からは九里学園高 高畠

> いました 心配事や感じている事を互いに語り合 当時や現在の生活状況、 手法で心のパンドラの て実践された 本和典氏のリードにより、 「パンドラグル 箱を開き、 復興への課題 東北で初

響で陸 作っていた。同世代の生の声を聞き、共 頃からの夢を諦めるな、 道路が開通しつながっ 出になった」、 の人と震災の話をする事ができて思 台の事は気にかけていた。 合い考えていきたい」、 る事が言えない゛この機会を通して話 たい」とそれぞれの思いを語りました。)人にも気軽に来て欲しい」、 終了後、 0 山形の生徒からは「『避難してい 言葉が心に届いた」、 の孤島であったが、 福島の生徒や先生は 「南相馬市は放射能の影 た。 「被災者と壁を がんばれ」と 山形や東京 常磐自動 行動に移し 「福島や仙 「小さな 他 重

復興心理・教育臨床センター代表・

しあわせココロのつくりかた(32)

カウンセラー・スピリチョ<mark>アルケアアドバイザー 志</mark> 村 理 友

目の前にある困難や障害に心を奪われる時、人は誰しも、正しい判断や冷静な対処をす ることが出来なくなるものです。物事を悲観的に考えやすくなり、不安感や恐怖心により、 まだ起きていない未来をも暗いものにしてしまいがち。他の人からのアドバイスも心には届 きにくくなり、さらに進むと、どうせ誰もわかってくれない!と、孤独の世界へとまっしぐら。 そんな時は、『ちょっと待って!』と自分自身にストップを。

本当に独りになりたいの?自分からちゃんと話をしようとしていたかしら?私は不幸を望 んでいるの?…と、自分への問いかけをしてみましょう。

こういう状況の時は、体もカチコチに硬くなりがち。深呼吸とともにストレッチをしたり、 自然豊かな場所へお出掛けなどストレスを発散させましょう。

辛くて外に出られない時は、自分の思いを言葉や文字に表して。心の内を聴いてもらう だけでもラクになるものです。



カウンセリング・ルーム メール相談:ryokusuinomori@yahoo.co.jp

山

形と福島の高校生が語り合う 震災復興高校生サミット

Special Interview

山形県長井市

Dining cafe-bar アトリエ・パッション

しおかわ よしのり 塩川 嘉徳 さん さん

千夏

Q お店を続けていました。 通の楽園)」をオープン。 後友人がいる福島県相馬市でダイニ に仙台市出身の妻と知り合い、 ングカフェ「パラディ・グルマン 【嘉徳さん】 震災前、 仙台で料理の勉強をしていた時 どう過ごしていましたか? 震災の時はどこで 実家は山形県小国町で 12~13年間

その

きあり、 震災時も、卒業式シーズンで予約 お店にいる時に地震があり

震災後、 にきましたか? どんな経緯で今の場所

Q

能の影響や子育て環境も考えて、 店を立て直すか迷いましたが、 形県長井市に移る事に決めました。 もが当時2歳だった事もあり、 ました。 小国町にしばらく避難する事になり 震でお店の外壁が壊れ、 【千夏さん】津波は免れましたが地 その後、 相馬市に残したお 夫の実家の 放射 子ど Щ

ていきたいです。

お店をオープンしたきっかけはな

Q

おすすめのメニューは

【嘉徳さん】肉料理、

なんでも得意です。

なれれば嬉しいです。

憩いの場、

またお店を開くことは考えていませ んでした 【千夏さん】長井市に移り住んだ後 夫は地元の仕事につき、すぐに

がおすすめです!

事を知り、「手をかけて直したら面白 そうだな」と思ったのがお店を開 【嘉徳さん】市内に空ガレージがある

ました。 いう気持ちもあってお店の再開を決め 外で働くより子どもと一緒に過ごす

(食

う」と伝えたいです。

はゆったりと落ち着いて過ごせる場所 内雰囲気のギャップに驚く方も多いで づくりをしています。お店の外見と店 ました。外見はガレージですが、 取り組んでいきたいという想いを込め ン(工房・情熱)」 【嘉徳さん】店名「アトリエ・パッシ お店はこれからも自分で手を加え は、 情熱をもって 店内

向いて頑張る姿を見せておきたい、 時間が増える事や、 きっかけです。

てくれる方がいて嬉しいです。

同じ境遇だ

「避難者」

【千夏さん】同じ避難者で、

お店を利用

からこそ話せることがあるし、

子どもに親が前を

きっと皆さん色んな形で頑張っていると思 からこそ、つながりは必要だと思います。 といっても普段見た目では分からない。

います。「一人じゃないから、つながり合っ

一緒に前を向いて頑張っていきましょ

再開することで、前を向いて進んでいる姿 の状況は、 を発信していきたいと思っています 【嘉徳さん】震災ほどに大変なこと、 きっともう起こらない。 お店を

お店の特徴は

Q



《Dining cafe-bar アトリエ・パッション》

11:30~14:30 (ラストオーダー 14:00) 17:30~22:30 (ラストオーダー 22:00)

定休日:火曜日 全32席

営業時間:

住所: 〒993-0011 長井市館町北 6-14

TEL/FAX: 0238-84-2125

同じ避難者の

Q

ありますか?

おすすめ情報

「すべてのみなさまへご連絡]

■移転のお知らせ

これまで山形県 NPO 支援センターで活動されておりました 入居団体が、施設老朽化により移転しました。

。♥ O認定 NPO 法人 山形創造 NPO 支援ネットワーク 00 TEL: 0237-85-0727 (4/28 開通予定) E-mail: mail@shien-net.or.jp 0 〇一般社団法人 山形県被災者連携支援センター 0 TEL 0237-85-1070 • FAX 0237-85-1071 E-mail: info@yamagatarensen.net 〇やまがた絆の架け橋ネットワーク TEL: 0237-85-1081 E-mail: mail@kakehashi.yshien.net 【移転先住所】 〒 991-0003 寒河江市大字西根字石川西 355 00 村山総合支庁 西庁舎内

○りとる福島

TEL:070-5474-0455

mail: littlefukushima@yahoo.co.jp (アドレスも変わりました)

【移転先住所】 〒 990-0021

山形市小白川町 2 丁目 3-31

山形県総合社会福祉センター 3階

[置賜地区]

■おきたま・ふくしま週末寺子屋平成 27 年度1学期開催のご案内

※第2·第4日曜日·13:30~16:30 開催

日程: 4月26日

5月10·24日 6月14·28日

7月12日

場所:春日山林泉寺

(山形県米沢市林泉寺 1-2-3)

内容: 学習支援とアクティビティー 臨床心理士による就学相談会

(4月26日・5月24日・6月28日・7月12日)

対象: 置賜地域および福島県在住の児童生徒

お子様の就学相談を希望される保護者の方 (本年度より、未就学児の保護者の方もご来談可能と

なりました)

主催:こども育成支援置賜学舎

(代表 石井清純 駒沢大学教授・前学長)

[問合せ]

置賜学舎専用携帯番号: 070-6469-3599

専用携帯メール: okitamagakusha@willcom.com

E-mail: seijun@komazawa-u.ac.jp

[最上地区]

■遊学の森からのお知らせ

豊かなスギ林とブナ林に囲まれた「遊学の森」は、一年を通して森を楽しむことができます。平成14年6月に第53回全国植樹祭が開催された記念すべき森で、思いっきり遊び、学んでみませんか。4月25日~5月17日までは、『かたくりまつり』もやっています。

『4 月からのプログラム』

●自然観察(探検)教室

森林案内メニュー(下記)より、森の自然生態(動・植物等) を観察しながら、森の案内人が見どころを案内します。

開設日:毎週土曜・日曜・祝祭日 期 間:平成27年4月~12月

時 間:60分コース

受付:午前の部 9:30~、午後の部 13:00~

参加料:200円~

服 装: 山歩きの服装で、雨具もご準備ください。 ※古道案内については、案内料 15,000 円

森の案内メニュー

4~6月 山菜と野草を食べよう

7~9月 あなたも樹木博士

10~12月 山の宝を食べよう

1~3月 スノートレッキング/

アニマルトレッキング

5~11月 古道の案内 有屋峠を行く

通年 森があるしあわせトレッキング

ardining all the selections and the selections are selected as the selection and the selection are selected as the selected are selected as the s

●食の体験(完全予約制)

オリジナルの窯でピザや燻製作りができます。 (うどん打ち体験や棒パンづくりも可能です)

開設日:毎週土曜・日曜・祝祭日

期 間: 平成27年4月~10月(7・8月を除く)

時間:60分程度

受付:午前の部 10:00~、午後の部 13:00~

参加料:300円~

服 装:汚れてもよい服装。

※ピザづくりは、10枚以上からの受付になります。

常設プログラムは、平日は要予約になります

「会場・問合せ・申込み」

山形県 遊学の森「木もれび館」

〒 999-5401

山形県最上郡金山町大字有屋字長野沢 1761 TEL: 0233-64-3305 FAX: 0233-64-3306

E-mail: yugaku@cello.ocn.ne.jp

ブログ :http://www.town.kaneyama.yamagata.jp/yugaku/index.htm



ひと休み

<材料> うど 3本 身欠にしん 2枚

干しシイタケ3 枚凍み大根2 本

出し汁 400ml 砂糖 大さじ2

では大さじ5

醤油 大さじ5みりん 大さじ2

「どんころ」とは、丸太のことです

うどのどんころ煮

<作り方>

- ①身欠にしんは食べやすい大きさに切り、米のとぎ汁でひと茹でし、よく洗っておく。干しシイタケは柔らかく戻しておく。
- ②うどは皮をむき、酢水に入れてアクをぬく。
- ③凍み大根は、ぬるま湯に浸して柔らかく戻して2cm 幅に切る。
- ④鍋に出し汁と全部の調味料を入れて、にしんを煮る。
- ⑤にしんが煮えたら取り出し、その煮汁で他の材料を 煮る。
- ⑥⑤が煮えたら、最後ににしんを加えて味を調える。



レシピ提供: 在来作物案内人 鈴木淳子さん

☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪ http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/

団体紹介 寺子屋子ども大学



2011年3月11日の東日本大震災にともなう原発事故により、福島県などから多くの方が山形県ほかに避難してきました。「寺子屋子ども大学」(代表松尾剛次)はそうした避難者の子弟に対して2014年4月以来、学習支援活動を行ってきました。本事業は2012年以来の「子ども支援フェイスブックプロジェクト」の「週末寺子屋」活動を受け継いでいます。「寺子屋子ども大学」では、毎月2回日曜日の9時30分から2時間、大谷派山形教務所または山形大学を会場に山大生や大学教員による学習支援活動を行っています。ほぼ毎月1回は山大教授による特別授業を行って

います。昨年は、栗山教授による「楽しい理科実験」、小泉准教授による「英語で遊ぼう」、藤野教授による「楽しい音楽教室」などを行いました。4月からは松尾による「最上義光を楽しもう」(4月26日)、坂井教授による「ナスカの地上絵」(5月10日)を開催する予定です。

お問合せ はこちら 山形大学人文学部 松尾研究室 TEL・FAX:023-628-4917 メール kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

*

支援センターのサイトをご覧ください→ http://kizuna.yamagata1.jp/ 編集部より

次号は 5月 20 日発行です

情報提供や寄稿は、 5月1日までにお寄せ下さい。 お待ちしてまーす!

避難者向けフリーペーパー「うぇるかむ」

発行元: つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた 〒 990-2412 山形県山形市松山三丁目 14番 69 号 「復興ボランティア支援センターやまがた」 TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312 E-mail kizuna@yamagata1.jp WEB http://kizuna.yamagata1.jp/

くださ~い。(遠藤) 皆さん、お元気で。見かけたら声をかけ*退職することになりました。

7

* 春 あたたかくなり、 どきでつながった縁を大切にして 公持ちが 思う今日この頃です。 は出 になりました。 会いと です 別 れ 新 遠出も楽しいと思える季 0) の季節です 緑や青 (サチ) い空 ね はやっ いきたい そ Ō

パ なっ ン 症にまけるな~ は った体を少しずつ一斉に咲きます。 1 つ動 花を か 見ながら冬に 梅 したいです。 桜 Ш 形 花固 \mathcal{O}

震災に まと 記 録」 協 め 形 働 おける 希望の 県 を までご連絡 た 支 発 内 と援活動の 援 東 行 O方は 活動を しまし 活動

